

総 会 報 告

第3回日本農学アカデミー総会は、平成12年9月4日 出席者26名、委任状提出者121名（総会員数183人の過半数）により定刻に開催されました。

可決、承認された議案等は下記のとおりです。

第1号議案 会則及び内規の一部改正

日本農学アカデミー会則の改正

・特別顧問制度の創設

日本学士院会員を特別顧問とすることができることとした。

理由 日本農学アカデミーが ICSU の組織の中の一つとして登録されるのを機に、農学分野における功績が特に顕著な学者を当会の特別顧問として迎えることにより日本農学アカデミーのより一層の社会的地位向上を図る。

・副会長の増員

現在の副会長2名を必要に応じ3名まで就任できるように改めた。

理由 日本農学アカデミー加入会員の増勢を図る一方、これに伴う魅力ある会の運営により一層の力を傾注するため、必要に応じ役員の増員を図れるよう、あらかじめ措置した。

第2号議案 日本農学アカデミー会員の会員証の発行

日本農学アカデミー会員の会員証を希望する会員について、無料で発行する。

【お願い 発行を希望する会員は、お名前・生年月日・現住所・写真1枚（ﾀﾞｲ5cm×ｺﾞﾄ3.5cm、裏面にお名前をご記入下さい。）を同封のうえ事務局に郵送して下さい。身分証明書の発行ナンバーは、必要書類等が事務局に到着した順にさせていただきます。】

第3号議案 平成11年度事業の実施状況

1. 第2回日本農学アカデミー理事（監事）・幹事会を開催

日 時 平成11年11月15日

議 題 会則・内規の一部改正（外国人も正会員とし、会費の有効期限を満3年とするなど）

平成10年度事業並びに会計報告

平成11年度事業並びに予算の検討

日本農学アカデミー主催シンポジウムの開催

会報の発行（1号）

会員入会状況と会員名簿作成について 等の議案を提出し、承認された。その他、総会の開催を平成11年度終了後できるだけ早く開催する他、理事会・幹事会等の開催を活発にすることを申し合わせた。

2. 第2回日本農学アカデミー総会開催

日 時 平成11年11月19日

議 題 1と同じ

3. 学術情報委員会関係事項

情報委員会の開催及び第2回日本農学アカデミーシンポジウムパネル討論の打合せ

日 時 【学術情報委員会】平成12年5月22日

【打合せ】 同 日

議 題 第2回日本農学アカデミーシンポジウムについて及び同シンポジウムパネル討論の打合せ

出席者 【学術情報委員会】中井情報委員会委員長・長堀金造日本農学アカデミー副会長（オブザーバ）・丹羽 勝委員・島田淳子委員・久能 均委員・森本尚武委員・倉持和雄（事務局）

【打合せ】中井情報委員会委員長・林 良博東京大学農学部長・岡野 健日本学術会議会員・桂 直樹農業生物資源研究所長

シンポジウム開催・運営についての具体的な方策や役割分担について検討した。また、打合せではパネル討論の内容について話し合い、シンポジウムのテーマを「農学におけるバイオテクノロジーの新しい展開」とし、開催日を平成12年5月31日とした。

第4号議案 新会員を報告

第5号議案 平成12年度事業計画を決定

1. 会員数の増加に努める。
2. 理事会・幹事会等の開催を活発にする。
3. 日本農学アカデミー主催シンポジウムを例年どおり開催する。
4. 会報誌面の充実を図る。

第6号議案 11年度決算

下表のとおり

収 支 計 算 書
(平成11年 7月22日から 平成12年 7月 21日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
I 収入の部				
前年度(10年度)繰越額	3,721,588	3,721,588	0	
会費収入	900,000	300,000	△600,000	10名分
預金利息	0	765	765	
雑収入	0	101,000	101,000	懇親会会費
収入合計(A)	4,621,588	4,123,353	△498,235	
II 支出の部				
印刷製本費	450,000	130,025	319,975	シンポジウムポスター、 会員名簿、会報印刷費
会議費	184,000	237,679 (136, 679)	△ 53,679 (47, 321)	カッコ内数字は実支出
通信運搬費	50,000	85,954	△ 35,954	往復葉書、切手等
会費振込手数料	0	1,340	△ 1,340	
図書購入費	1,124,000	1,009,171	114,829	月刊学術の動向
諸経費	160,000	160,000	0	電話料等事務管理費
支出合計(B)	1,968,000	1,624,169	343,831	
次期繰越金額(A)-(B)		2,499,184		

預貯金残高

内 訳	金 額
郵便貯金	1,328,928
住友銀行定期預金	1,000,000
住友銀行普通預金	170,256
計	2,499,184

第 7 号議案 12 年度予算

下表のとおり

平成 12 年度日本農学アカデミー予算
(平成 12 年 7 月 22 日から 平成 13 年 7 月 21 日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収 入 の 部		
前年度より繰越 会 費 収 入	2,499,184 1,200,000	30,000 円×40 人
収 入 合 計 (A)	3,699,184	
II 支 出 の 部		
印刷製本費	620,000	
会員名簿作成費	352,000	1,600 円×220 人
会報作成費	110,000	500 円×220 人
日本農学アカデミーの葉作成費	60,000	120 円×500 部
シンポジウムポスター等作成費	98,000	
通信運搬費	1,594,800	
往復はがき (総会通知・シンポジウム)	44,000	100 円×440 枚
総会関係資料送付 (総会欠席者・会報等)	30,800	140 円×220 人
図書購入費 (月刊 学術の動向)	1,520,000	8,000 円×190 人
会議費	128,000	
理事会	27,000	1,500 円×18 人×1 回
幹事会	21,000	1,500 円× 7 人×2 回
委員会	30,000	1,500 円×20 人×1 回
総会・シンポジウム後の懇親会負担金	50,000	
消耗品費一式	50,000	
諸経費	160,000	
支 出 合 計 (B)	2,552,800	
次期繰越金額 (A)－(B)	1,146,384	

慶 弔

大熊幹章 九州大学農学部教授が紫綬褒章を受賞されました。

三橋淳 東京農業大学教授が Lifetime Achievement Award (生涯研究賞) を受賞されました。こころからお慶び申し上げます。

平成 12 年 3 月 23 日、三輪谷俊夫 第 17 期日本学術会議第 6 部会員が逝去されました。つつしんでご冥福をお祈り致します。

第1期日本農学アカデミー役員

会 長・理事	佐々木 恵彦	日本学術会議副会長
副会長・理事	中井 弘和	静岡大学農学部長
副会長・理事	長堀 金造	日本学術会議第6部長
理事	岡野 健	日本学術会議第6部会員
//	久能 均	三重大学生物資源学部長
//	小島 誠	新潟大学農学部長
//	穴戸 弘明	元国立畜産試験場長（鯉淵学園長）
//	島田 淳子	日本学術会議第6部幹事
//	田渕 清	麻布大学獣医学部教授（元学部長）
//	並河 鷹夫	名古屋大学農学部長
//	松田藤四郎	日本学術会議第6部会員
//	森地 敏樹	元国立畜産試験場長（日本大学教授）
//	安室 喜正	鳥取大学農学部長
//	山崎 耕宇	日本学術会議第6部副部長
//	山下 興亜	日本学術会議第6部幹事
監事	朝日田康司	日本学術会議第6部会員
//	門田 定美	日本大学生物資源科学部長

（99年3月現在）

～編集後記～

総務企画委員会

会報の編集業務は総務企画委員会が当ることになった。第2報の編集内容は次のような方向でとりまとめることにした。即ち、a. 第18期学術会議第6部の新部長に巻頭言を飾ってもらうこと。b. 国際科学アカデミーの活動の現状と農学アカデミーの将来について。c. 農学アカデミーの活動の中で最も重要な役割を担っているシンポジウムについて総括報告をすること。d. 第17期の学術会議第6部の活動のあらましを報告し、あわせて、農学アカデミーの設立経緯と将来展望など、さらに、第6部の対外報告も紹介する。e. 最近、大学関係者にとって最も関心の強い、独立行政法人化のこれまでの推移と今後の動向など。f. 海外における会員の研究活動とフィールド研究の報告。g. 海外会員からの寄稿の紹介。h. 慶弔欄を設けること。i. 第3回総会の報告。等、できる限り、幅広い会員の活動状況を紹介できる内容にしたつもりである。

本誌の「日本農学アカデミー会報」の題字は日本学術会議会長吉川弘之先生、挿画は静岡大学教育学部美術教育の寺澤節雄教授のご協力によるものである。この場を借りて両先生に御礼を申し上げたい。